

【教育・学習環境】 市民、コミュニティ及び事業者が環境の取組に参加し、環境意識を高めます

4. 市民、コミュニティ及び事業者が環境の取組に参加し、

環境意識を高めます（教育・学習環境）

(1) 環境教育と環境学習の推進

現状と課題

教育委員会では、環境教育及び環境学習を推進するため、事業参加対象者の年代層などに応じた各種講座・教室等を実施しているほか、世代間交流事業として芦別市青少年育成連絡協議会との共催で「全市一斉親子クリーン作戦」を実施し、青少年の社会参加と社会奉仕活動を助長し、地域の環境美化活動を実施しています。

一方、本市の小学校2校、中学校2校（平成31年4月1日現在）においては、総合的な学習の時間や特別活動の時間などの授業活動として、環境教育・環境学習に取り組んでおり、農業体験や社会見学などにより地域の自然を知ることはもちろん、清掃活動、資源ごみの回収などを通じ、さまざまな形で実践されています。

今後は、子どもからお年寄りまで、幅広く市民の環境保全に対する高い意識を具体的な実践活動へと結びつけるためのきっかけの場として、環境学習の場をさらに整備するとともに、内容の充実を図ることが必要です。

また、高い環境意識を持つためには、子どもからの環境教育が大切であることから、学校においてはさまざまな場面で環境を意識させる教育活動の充実に努める必要があります。

基本目標

- すべての人を対象とした環境学習機会の提供を進めます
- 小中学校の教育活動全体を通じて、各小中学校の特色ある環境教育に取り組みます

指標項目	H30 年度実績値	R11 年度目標値
環境講座・環境イベントの参加者数	67人	→（維持）

市の取組

1. 社会教育

環境教育及び環境学習を推進するため、関係機関・団体との連携を図りながら、学習機会のさらなる提供など内容の充実に努めていきます。

また、環境教育及び環境学習を意識した学習メニューの年次的な掘り起こしに努めていきます。

- ① 多様で複雑な環境を理解する知識の習得に加え、環境問題の解決に向け、適切に判断し行動できる資質や能力などを育成する各種講座や教室等を開催します。

2. 学校教育

環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力の育成を図るため、小中学校の教育活動全体を通じて環境教育にかかる取組を進めていきます。

- ① 参加・行動型の学習の充実

自然や環境保全に取り組むことを目的とする活動を主体とした学習活動の充実に図ります。

- ② 自然についての学習の充実

身近な自然に親しみ、植物の栽培や動物の飼育活動等を通し自然の素晴らしさや、生命の大切さを感じ取る活動の充実に図ります。

- ③ 体感する学習機会の充実

五感を使って、自然の中で遊んだり観察したりして、自然の神秘や不思議さを感じ、環境に対する感性を養う学習機会の充実に図ります。

- ④ 環境意識の向上を目指す学習の充実

教科、道徳、総合的な学習の時間などの授業や日常の生活において、環境問題への視野を広げながら環境意識の向上を目指します。

- ⑤ 地域・家庭と連携した学習活動の推進

環境に関する教育活動は、学校だけでの取組は難しいことから、地域の人材や施設設備を最大限活用するとともに、家庭や地域の協力を得て、連携しながら推進していきます。

市民の取組

- ① 家庭で地域の環境や地球規模の環境問題について話し合い、環境を守ることの大切さを伝えます。
- ② 日常生活と環境のかかわりについて考えます。
- ③ 自然に触れ合う機会を持ち、自然を大切にする感性を育て、命の大切さを学びます。
- ④ NPOなどの民間団体、事業者、行政などさまざまな主体の連携・協働によるイベントや活動に参加します。



【森林療法講座の様子(市民講座)】



【上芦別小学校の児童による公園内の環境美化活動の様子】